

明治三十六年十月廿六日

農作状況在オランダ領事ヨリ報告之件

外務省

10

3-1302

0320

五月十八日報告部受

公債第六九號

一三九三二

明治三十八年五月十九日發遣
報送第一四七〇號

本年度小麦收穫ハ昨年年度より
佳勢ナリ

本年度小麦世界小麦收穫ハ昨年年度より
著シク減少スルモ尚ホ平均以上ノ作柄ト見做シ得

重要生産國左滿魯國ニ於ケル昨年年度小麦收
穫ノ豫想高及昨年年度ト比較

世界ニ於ケル小麦全收穫高

本年收穫ニ於テ收穫セル小麦ハ其品質昨年
ノ分ニ比シ遙々佳良ナルヲ以テ世界市場ニ於ケ
ル精糧穀類ノ需用ハ蓋シ昨年ノ如ク劇ヒカ

三三六

在外公館

五月官報掲載

官報登在

改通商
掲第千九
號

6

本年ハ收穫不足ノ加フルニ在荷ノ僅少ナルヲ以テ
小麦市場相場ハ必ス騰気配ヲ呈スル
相場建ニ著シキ影響ヲ與フ
里麦・燕麥・大麥・玉蜀黍・世界ニ於ケル全收
穫豫想高

小麦生産地地図

世界、於ケル本年度、小麦收穫ノ豫測

本年度ノ天候ハ農作上ヲ觀察スルニ西歐羅巴
ヲ包シテ余リ佳良ナル年柄ニアラス即チ初春ノ
候ニ當リ氣候寒冷加之多量ノ降雨ヲ以テヒシ
カハ冬播穀類ハ甚シキ損傷ヲ受ケ殊ニ獨逸・
於ケル損害ハ最モ甚シクシテ曰國ニ於ケル冬播
ノ大部分ハ再ヒ春播ニ耕作シ直ニ不獲ト至リ
タリ而シテ中夏ノ頃澳洪國及独逸ノ東部地
方若クハ多瑙河沿岸地方ニ於テハ霖雨ノ為メ作
物ノ害セラレ數量ニ於テモ品質ニ至クテモ甚シク例
年ニ若レルニナラス或ル地方ニ於テハ洪水ノ為メ全ク

在外ノ本館

作物ヲ流失セシ所モ數ナカラス夏季ノ未熟ニ至
リ歐洲大陸ノ北部及中央部地帯ニ於テハ
數週間寒冷且降雨ノ季候ヲ見ルニ為メ独
逸全体・スカンデナヴィヤ半島・佛國北方中央部
諸州及大英國等ニ於テハ穀物ノ成熟及刈収
ハ甚シク其影響ヲ蒙リタリ。二月下旬ニ至リ天候
稍ヤ佳良トシ為メ著シク損害ノ度ヲ減サス
ニ至レリ殊ニ西部歐羅巴ノ東南部部分ニ於テハ
一層佳良ノ結果ヲ收メテ得タリシモ性々独
玉赤蜀ノ早熟ニ為メ著シク收穫ヲ減シタリキ
北米合衆國ニ於ケル作物ハ最初頗ル豐作ナリ
ト見込ナリシカ爾後ノ天候凶悪ナリシ為メ其豫
測ハ漸次低下スルニ至レリ曰國ニ於テハ夏季ノ早

播

世

播

賜の春播穀物、非常ノ損害ヲ及ホシ又夏季
ノ終リニ於テハ北米大陸ニ寒凍及霖雨引續
キ名爲ノ穀類成熟及刈獲ニ著シキ近滞ヲ
来タレタリ、而シテ冬播作物ニ至リテハ本年夏天
候佳良ナリシ爲メ到下ノ右様ニハ收穫ニ甚ク漏
足ニ結果ヲ得一ナ様候アリ

之ヲ要スルニ本年年度ニ於ケル世界ノ小麦ノ收穫ハ
高業社層リ評定ニ據ルニ前年度ニ比シ大ニ
低下スルモ、如レトモ前年度ノ收穫カ蓋シ前
古稀ニ豊饒ナリシ事ヲ想フニ本年年度ノ
收穫ハ中以上ノ作極ト稱スル程ヲ得シ、今重
タル生産國ニ就テ之ヲ觀察セシニ小麦ノ甚シキ不
足カ豫見セラルルハ露國ニシテ露國ハ千九百二年ニ

十區

在外

七區

於テ一〇九百萬布度、一九〇一年ニ於テ七〇百
萬布度、一九〇〇年ニ於テ七〇二百萬布度、收
穫アリシモ本年年度ノ收穫ハ凡ソ七八〇百萬布度ノ
ニ過キサル見込ナリトス、茲ニ注意スルハ千九百二年
ニ於ケル收穫ノ統計ガハ統計ハ中央統計
局ニ於テ公示セルモノ、甚シキ多量ヲ示シ今日迄
西歐諸國ノ專家ニシテ疑念ヲ懷カシタル事
是ナリ、尤モ前年度ニ於テ多量ノ輸出ヲ見タ
ル一事ハ稍ヤ其正確ヲ証明スルモノ、似タリト
モ尚モ高キ程ナキ能ハスルニ本年年度ニ於
ケル露國ノ收穫ハ前年ニ比シハ大ニ低下ノ
様候アリ、匈牙利、於テハ前年より日様收
穫ヲ減シ日國農務省ノ調査ニ依ルニ本年ノ

(カ) 米

せ
4

収獲ハ昨年即チ千九百二年ノ四九七七七〇〇〇
 セントセル(ノトリクセントセル百基丸)ニ對シ、四四九五五〇〇〇
 ノトリクセントセルノ見込アリルマニヤ、國ノ収獲見込
 ハ同省ノ調査據レハ前年ノ二六八五九八六〇ク
 トリートセル百リートセルニ對シ、二三〇〇〇〇〇〇ノクトリートセル
 56(前年ハ非常ノ豐作ナリキ)バルガリヤノ収獲
 見込ハ同省ノ調査據レハ千九百二年ハ百萬
 ノトリクセルトセルニ對シ、千九百二年ハ百萬
 セルビヤノ収獲ハ前年比シ、大下リ三百萬ノトリク
 セントセルノ見込ナリトス、土耳其ノ収獲ハ前年度ノ
 千九百萬ノトリクセルトセルニ對シ、本年年度ニ千〇二十
 萬ノトリクセルトセルノ豫測ナリ、北亞非利加沿岸
 諸州ニ於ケル収獲ハ余リ良シカラス、例ハアルゼリ
 存外 公館
 ノ如キ匈牙利農務省ノ調査ニヨレハ千九百二年ノ
 ハ百萬ノトリクセルトセルノ収獲ニ對シ、本年度ノ収
 獲ハ六百五十萬ノトリクセルトセルニ過キストナリ、然レモ
 トセルニ對シ、千九百二年ノ収獲百八十萬ノトリクセル
 得ヘキ見込アリ、而シテ、合衆國ノ収獲ハ今日ノ如ク
 ナ、未々今明ナラス、紐育取引所ノ計算ハ穀物
 高社會ニ於テ稍々増大ノ計算ニ屬スルモト見
 做シ居ルガ、英國穀業雜誌記者ハ稍々之ヲ正
 確ナル數量ヲ奉示シ、本年度於テ、合衆國ノ
 収獲ハ前年度ノ六六六百萬(ブシセル)ニ對シ、六五
 百萬(ブシセル)ヲ得ヘントスヘリガ、泰陀ノ収獲ハ見積
 評定ニ據レハ前年度ノ九三、五六九、四五〇(ブシセル)

對シ本年度、於テハ一百萬クワント得ヘク又
 東印度本年度、收穫ハ七、七、四、八、五、一、屯、外
 シテ前年、收穫高六、六、三、五、〇、六、屯、超過シ博
 州ハ收穫大減シ前年、收穫五、三、六、〇、〇、〇、クワント
 對シ本年度ハ二、六、五、〇、〇、〇、クワント得ルニ過キス
 トテ、尤モ穀物雜誌記者ノ說ニテハ本年度
 博州ノ收穫ハ高キ之ヲ一、五、〇、〇、〇、クワント増加ス
 ンニ至ルナラント云ヘリ、亞爾然丁ノ收穫ハ前年度
 一、四、六、四、〇、五、屯、對シ本年度三、〇、二、二、〇、屯ヲ收
 穫シ高キ來ルニテ冬期向ノ收穫ハ英國日雜誌
 ニ依ルニ一、五、〇、〇、〇、クワントトナレント云ヘリ
 更ニ、統計ヲ主要ニ消費國ニ就テ之ヲ見ルニ、孰レモ
 本年度、於テハ小麦ノ不足ガ多サトモ、豫想セ

在外公館

ラル七月、茶葉ノ佛國「エコーアグロ」雜誌、一以評
 定、稍ヤ陳腐ノ嫌ナキ能ハス、計算、按ハ、本
 年度佛國ノ小麦收穫ハ千九百二年ノ收穫一
 二、二、九、六、〇、〇、クワントトナレト、對シ二、八、〇、九、二、七、五、六、〇、ク
 トリト見込シ、轉込、於ケル天候ノ佳良ハ多分
 異リ一層ノ好結果ヲ見ルニ至ルナラカ、独逸ニ於
 テハ匈牙利官廳ノ見積算定ニ據ルニ千九百二
 年ノ三、九、〇、三、九、六、屯、對シ本年度ニ於テ三、五、五、〇、
 〇、〇、屯ノ收穫ヲ得キ、豫算ナリ、英國ニ於テハ
 農業雜誌ノ豫算ニ據ルニ、昨年ノ七、三、〇、〇、〇、
 〇、クワント、對シ本年度ハ五、七、五、〇、〇、〇、クワントトナレト、按ハ、サ
 ルヘント云フ、西班牙ニ於テハ、澳匈國官廳ノ調査
 ニ據ルニ、本年度ノ收穫ハ三、三、五、〇、〇、クワントトナレト云フ

ト云フモ 商業家ハ該計算ヲ以テ 昨カ過算ニ失レ 昨年ノ 四三五十萬ニ對シ 同國本年年度ノ收穫ハ 大約 四ヶ萬ニトリトシテ 計算スルヤ 尙當ナシト云ヘリ 澳太利ハ 同國官廳ノ 調査・按ルニ 千九百二年ノ 一三、五三、九六三、トリツクセント子ニ 對シ 一三、七、〇〇〇、トリツクセント子ニ 收穫セリト云フ 伊太利ハ 收穫ハ 昨年より 一層佳良シテ 昨年ノ 三五、五、十萬トリツクセント子ニ 對シ 三ヶハ百萬トリツクセント子ニ 算定ナリト云フモ 且ハ 同國官廳ノ 調査・按ルニ 同國統計家ハ 積過算ニ 失セリト云ヘリ 其他 歐洲大陸ノ 諸國ニ於テモ 本年ノ 收穫ハ 昨年ニ 比シ 概シテ 劣ルモノ如シ

在外公館

今在 消費國及生産國 於ケル 小麦 收穫ノ豫想 數量ヲ表示スルハ 左ノ如シ

消費國	千九百二年及三年	千九百三年及四年
英吉利	一〇〇、四〇〇、〇〇〇	七九、七〇〇、〇〇〇
佛逸	二三八、一〇〇、〇〇〇	二一六、七〇〇、〇〇〇
佛蘭西	五七七、九〇〇、〇〇〇	五六二、六〇〇、〇〇〇
白耳義	二二、七〇〇、〇〇〇	二一、〇〇〇、〇〇〇
和蘭	八、五〇〇、〇〇〇	七、三〇〇、〇〇〇
澳太利	八二、五〇〇、〇〇〇	八四、一〇〇、〇〇〇
瑞西	六、九〇〇、〇〇〇	六、九〇〇、〇〇〇
西班牙	二〇七、二〇〇、〇〇〇	一九五、〇〇〇、〇〇〇
葡萄牙	一〇、七〇〇、〇〇〇	九、二〇〇、〇〇〇
伊太利	二二六、七〇〇、〇〇〇	二三一、九〇〇、〇〇〇

希臘	一五、八〇〇、〇〇〇	一六、二〇〇、〇〇〇
丁抹	七、五〇〇、〇〇〇	七、六〇〇、〇〇〇
瑞典	七、六〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇
埃及	二〇、一〇〇、〇〇〇	二〇、一〇〇、〇〇〇
計	一、五三三、六〇〇、〇〇〇	一、四六五、八〇〇、〇〇〇
生産國	千九百二年及三年	千九百三年及四年
露西亞	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	七、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇
匈牙利	三〇三、九〇〇、〇〇〇	二七四、四〇〇、〇〇〇
ルーマニア	一、二七九、〇〇〇、〇〇〇	一、二四、五〇〇、〇〇〇
ホルガリヤ	四、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇	六、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
セルビア	一、八九〇、〇〇〇、〇〇〇	一、八三〇、〇〇〇、〇〇〇
土耳其	一、一四三、〇〇〇、〇〇〇	一、二三三、〇〇〇、〇〇〇
アルジール	四、八、五〇〇、〇〇〇	三、九、七〇〇、〇〇〇
チリ	一〇、九〇〇、〇〇〇	一、二、二〇〇、〇〇〇
東印度	三、七〇、二〇〇、〇〇〇	四、七、四〇〇、〇〇〇
北米合衆國	一、一六、四〇〇、〇〇〇	一、〇、九、一、二〇〇、〇〇〇
加拿陀	一、五七、一〇〇、〇〇〇	一、三、四、六〇〇、〇〇〇
墨西哥	二、一〇〇、〇〇〇	二、一、四〇〇、〇〇〇
亞尔然丁	一、八九、四〇〇、〇〇〇	一、六、六、二〇〇、〇〇〇
ウルグエー	一、三、七〇〇、〇〇〇	一、四、〇〇〇、〇〇〇
智利	一、七、九〇〇、〇〇〇	二、一、四〇〇、〇〇〇
壕大刺利	三、六、四〇〇、〇〇〇	七、二、八〇〇、〇〇〇
計	三、六〇、四、五〇〇、〇〇〇	三、四、一、九、六〇〇、〇〇〇
總計	五、一、二、七、一〇〇、〇〇〇	四、八、八、五、四〇〇、〇〇〇

6
一布度、我四貫三百六十匁

在外公館

世
M

今日迄以上ノ如キ概算ヲ公示セシハ單ニ匈牙利農務省及英國農業雜誌ビルボルト刊穀物雜誌アルニシテ夫レサエ互ニ矛盾シタル莫ク又各國ニ於ケル収獲、運送ニ為テ充分統計ヲ集蒐シ難キトノ年解ヲ附シ居ルヲ以テ他、確實ナル調査ノ存在ニ場合、於テハ可成之ニ賴ラズシテ叙述スルニ努メタリ

露國ニ就テハ商業貿易雜誌社通信員カ各地ヲ報道セシ通信ニ基キ尙ホ前年中史統計局ノ調査ニ係ルモノヲ根拠トシ、但シ外國専門家カ露國収獲、對スル意見如何ヲ考酌センカ為シ茲ニ匈牙利官廳及英國雜誌ノ計算ヲ引証スニ即ケ匈牙利農務省

本年年度露國小麦ノ収獲ヲ一億四千萬乃至一億四千五百ハトルセントシ即ケハト掃度ニ英國ビルボルト雜誌ハ五千三百五十萬トシト即ケ七億四千百萬布度ト見積レリ、斯ノ如ク其ニキ差違即ケ一億三千萬布度ノ差違ヲ示ス所以、モノハ前段ニ於テ論シタルカ如ク英國穀商社會ハ露國中央統計局ノ報告ニ信ヲ置カサルニ原因ス例ハ中央統計局ハ千九百二年ニ於ケル小麦ノ収獲ヲ十億萬布度以上ト計算スルニ及シ英國ビルボルト雜誌ハ六千百萬トシト即ケ一億四千五百萬布度ト計算セリ

今左ニ匈牙利官廳及英國雜誌ノ調査ニ

在外公館

是キ世界ニ於ケル小麦ノ收穫豫想高ク示セ
ハ左ノ如シ

匈牙利農務省	千九百二十年	千九百二十年
匈牙利農務省	八三五、四〇〇、〇〇〇	八三三、六〇〇、〇〇〇
英國ヒルホーイ雜誌	千九百二十年	千九百二十年
英國ヒルホーイ雜誌	三七四、七〇〇、〇〇〇	三七四、七〇〇、〇〇〇
是ヲ露國數量ニ換算セバ		
	單位一百萬布度	

匈國農務省	五、〇一〇	減一六。
英國雜誌	五、一八九	一六九。
露國殖産雜誌	五、一三七	二四一。

斯ノ如ク本年度ノ收穫數量ニ於テ昨年ニ比
シテ右重要ノ生産及消費國ヲ通シテ減額ヲ見ル
カ如キモ其原因ヲ極ムトキハ昨年ノ收穫が寧
ク例外ノ豊穰ナリシヲ知ルニ又其品質ノ点ニ於テ

在外公館

ハ本年度ノ收穫ハ昨年ニ比シ遙カニ上位ニアリ是
ニ於テカ世界ノ市場ニ於テハ輸入穀物ノ精撰品
ニ對シテハ昨年ノ如ク劇シク需要ヲ望ムヘカラス迄
テ輸入國ニ於テハ内地生産品ガ本年度夏季即チハ
遙カニ重要ナル取引ヲ見ルニ至ルニ而テアラス
茲ニ注意スヘキハ較近ノ天候佳良ナル結果トシテ
收穫ノ増長ニモ影響スヘキハ勿論ニシテ歐洲大
陸ノ北部ニ於テハ特ニ收穫ノ増加ノミナラス品質
ノ佳良ナルニテ事モ豫想ニ得ヘキナリ故ニ以テ
豫想ヲ基礎トシテ論ズルニ本年ノ度小麦收穫
ノ不足ハ世人ノ想像スルカ如ク萬國互市場ニ於
テ賣買引際リ、主動機ト為ラサルヤモ知ルヘカニサ

せ
9

ルナリ、殊ニ歐洲以外ノ消費國が澳大利亞、豐
 作ヲ豫期シ、昨年ノ如ク歐洲ノ輸入ヲ要セサルヘシ
 トノ想像、如キハ全ク画餅ニ屬シ或ハ意外ノ結
 果ソロヨシニ至ルヤモ計リ難キナリ、然レモ又一方ヨリ
 之ヲ觀察スルニ、刻下小麦相場が昨年ニ比シ著
 シク昇騰シ居ル状態ト世界市場、於ケル穀
 類ノ現在高ト、参酌スルトキハ本年、小麦取引
 ハ強硬な情態ヲ保持スルモト測定セサル一カラス
 若シ向後ノ計算、概リ本年度ノ收穫カ現時
 ノ勘算高ヨリモ多少佳良な結果ヲ呈スル可ク
 トスルモ收穫ノ不足ハ到底免カラス加フルニ在荷点
 於テモ甚ク僅少なカ故ニ市場相場、強気配
 ヲ来タスノ至因トナルハ蓋シ疑シ容レサルナリ、以テ實ニ於
 テ將來ノ相場建シ著シキ影響ヲ與フルモノハ北
 米合衆國ニシテ本年度ノ穀物取引ハ主トシ
 テ日國收穫ノ範圍ノ廣狭如何ニ由ラズ定ムルモノトス
 若シ合衆國ノ收穫が果シテ今日ノ悲觀的豫想
 ノ如ク現レルニ昨年ニ比シ大ニ其數ヲ減スルニ至レバ
 其結果トシテ他ノ生産國タル露國、亞爾然丁及
 多^{ドナ}腦沿岸諸州ノ世界市場ニ於ケル本年
 度ノ取引ニ關シ重要な供法國トナルヘク而シテ
 以テ豫想ニ合衆國ニ於ケル現在穀類ノ貯蓄量が
 過去十二年間、千八百九十八年ノ一年ヲ除キ未
 曾テ見ツルナキ程僅少な數ヲ示スニ於テ益々
 其事實トナルニ近キモノ、如シ
 小麦ノ除キテ世界市場ニ影響ヲ及ボスヘキ他

刺

世ノ

在外公館

ノ穀類ノ收穫ノ計算ハ刻下唯々匈牙利農務省ノ調査アルニ、今ヨリ省ハ調査ニ見テ、主要ナル穀類ノ收穫豫想高ク露國數量ニ換算シテ示セハ左ノ如シ

單位百萬布度

	一九〇二年	一九〇三年	
黑麥	二五九・三	二三四・六	減二四九・七
燕麥	三〇六・六	三一・二	增四六・八
大麥	一六五・九	一六一・二	減四七・六
五蜀黍	四七〇・二	四三九・九	減三〇・三

燕麥ヲ除キ他ノ穀類ハ匈牙利官廳ノ調査ニ據リ、昨年ニ比シテ不足ヲ告ケ殊ニ黑麥及五蜀黍ニ於テ其甚シキヲ見ル之ヲ以テ世界

在外公館

於テ穀物市場ノ格段著シキ影響ヲ感スルニシテ、然レモ以テ調査ハ春播穀類ノ收穫ヲ決ルト日時ニ為サレシモノナカ故ニ、以テ其於テ穀物取引ノ末ノ状況ヲ察言スルニ未タ聊カ早キニ失スルノ嫌ナキヲ得サルナリ

以上本年九月刊行ノ露國高業殖産新報ノ記事ニ基テ報告スルモノニテ、該記者ハ目下歐洲大陸ニ於ケル穀類豐作ノ程度未タ分明ナラサルヲ以テ本稿中ニ掲クル收穫ノ見込概算ハ多少想像的ニ傾キ、唯々其大勢ヲ示スニ止リ、又西部西比利亞地方ヨリ、最近ノ報道ハ豫想外ニ佳良ノ收穫アリト云ヘハ本稿中ニ示セル露國今作ノ收穫計算ニ訂正ヲ加ヘサルカ

世)

中

ラスト附言あり

本編ニ附録トシテ挿入セル地圖ニ世界ニ於ケル
重要小麦生産國及消費國ヲ其色取ニ申シ
平均以上収獲平均収獲及平均以下収獲ノ
三種ニ區別シ本年度於ケル小麦収獲ノ豫想
高ク示スモノナリ

右及報告候致具

明治廿六年九月廿日

在オテッサ

領事 飯島魯太郎

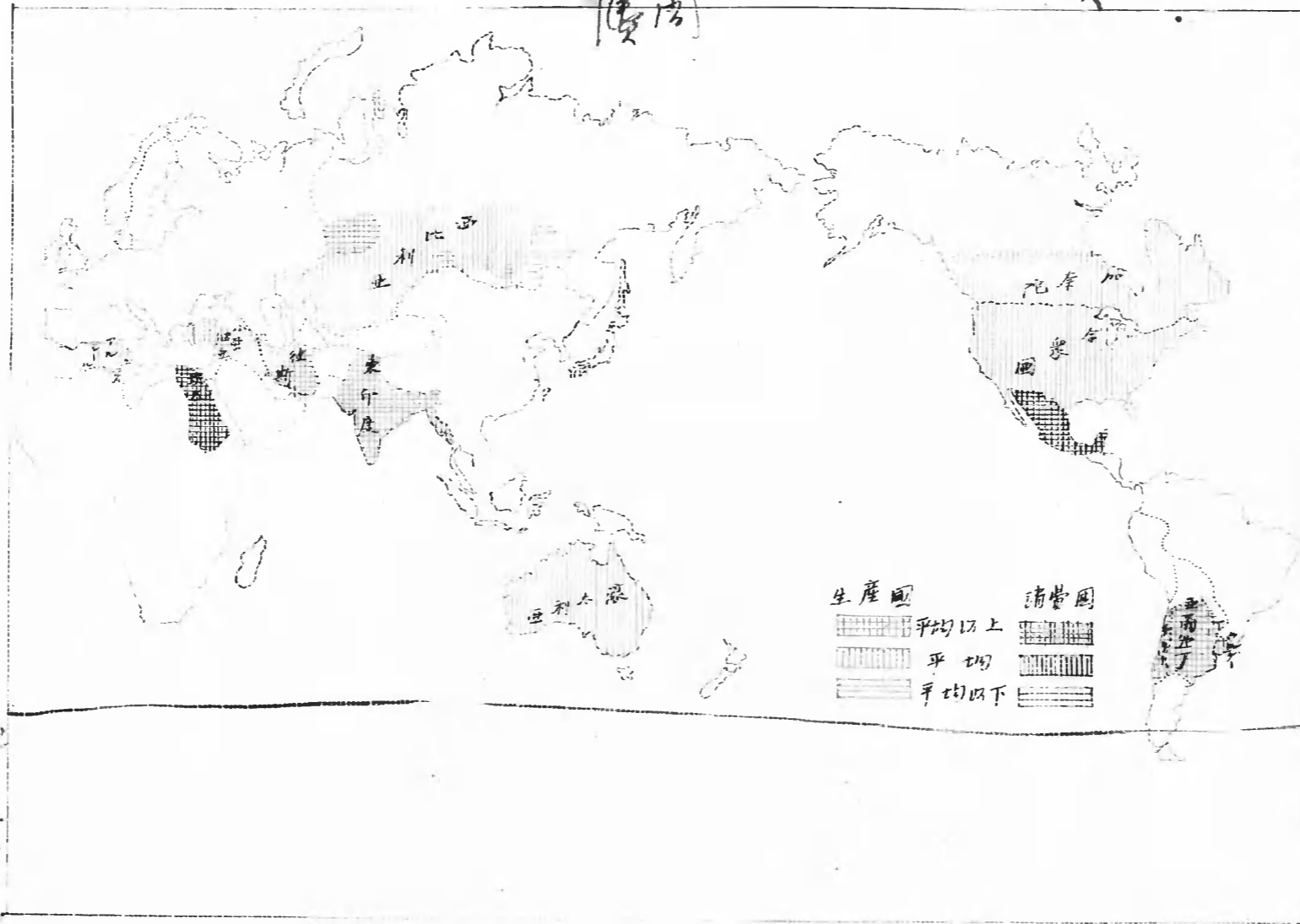
在外公館

外務大臣男爵小村寿太郎殿

圖

世
1.2

世界小麦生産比較表



本資料は、
 本館蔵書
 附録

A

此より下は別紙

歐洲之小麥收穫量與消費量比較圖
 收穫量比較之小麥收穫量

此圖中
 平均以上
 平均
 平均以下

